

第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会(第1回)

日 時：令和3年9月14日(火) 10:30~12:00

場 所：本庁舎2階庁議室（オンライン開催）

次 第

1 あいさつ

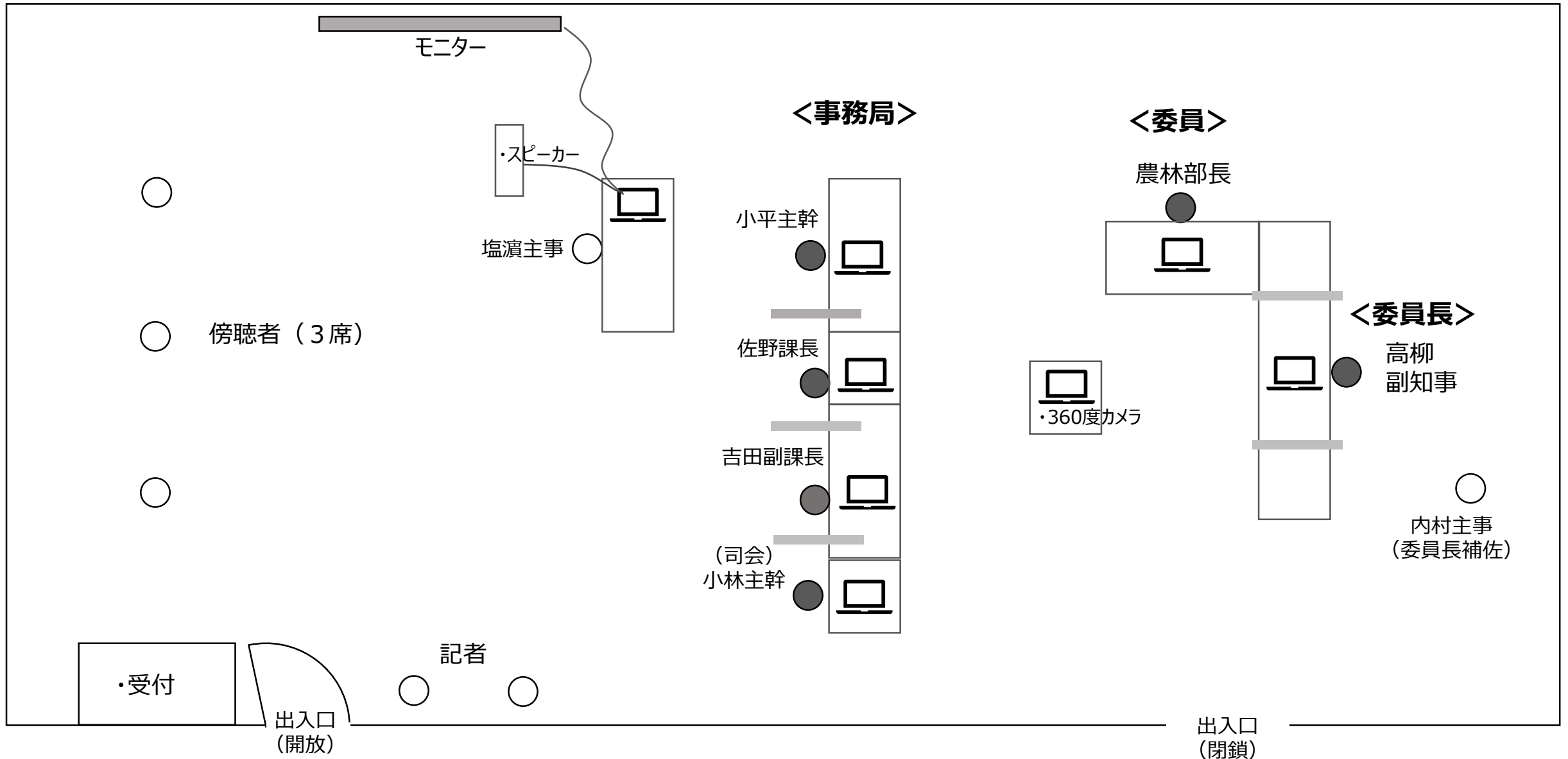
2 議 事

- (1) 第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会の設置について【資料1】
- (2) 全国植樹祭の概要について【資料2】
- (3) 開催までのスケジュールについて【資料3】
- (4) 基本構想について【資料4-1~5】
- (5) 準備委員会の進め方について【資料5】

<資料>

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 【資料1】 | 第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会設置要綱 |
| 【資料2】 | 全国植樹祭の概要について |
| 【資料3】 | 第75回全国植樹祭埼玉県開催までのスケジュール |
| 【資料4-1】 | 第75回全国植樹祭基本構想について |
| 【資料4-2-1】 | 先催県・後催県における「開催理念」 |
| 【資料4-2-2】 | 埼玉県における「開催理念」のキーセンテンス(案) |
| 【資料4-2-3】 | 埼玉県における森林・林業に関する施策等参考資料 |
| 【資料4-3】 | 第75回全国植樹祭開催候補地について(案) |
| 【資料4-4-1】 | 第75回全国植樹祭開催候補地の選定基準(案) |
| 【資料4-4-2】 | 先催県・後催県の開催規模事例 |
| 【資料4-5】 | 第75回全国植樹祭開催候補地の選定手順(案) |
| 【資料5】 | 第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会の進め方について |

【配席図】 第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会（第1回）令和3年 9月 14日（火）10：30～12：00 本庁舎2階庁議室



第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会（第1回） 出席者名簿

委員

（敬称略）

区分	所属・団体名	役職	氏名	代理出席
学識経験者 (2)	東京農業大学	客員教授	宮林 茂幸	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	講師	浅野 友子	
林業関係団体 (6)	埼玉県森林組合連合会	代表理事会長	吉田 廣文	
	(公社) 埼玉県緑化推進委員会	代表理事	岡 眞司	
	(一社) 埼玉県木材協会	会長	島崎 政敏	専務理事兼事務局長 宮島 義和
	埼玉県森林協会	会長	井上 淳治	
	埼玉県山林種苗協同組合	理事長	滝田 早苗	
	(一社) 埼玉県治山林道協会	会長	石木戸 道也	専務理事 町田 秀夫
各種団体 (6)	(一社) 埼玉県建設業協会	会長	伊田 登喜三郎	技術部長 中村 等
	(一社) 埼玉県造園業協会	会長	渡邊 進	
	埼玉県農業協同組合中央会	会長	坂本 富雄	専務理事 小池 和明
	(一社) 埼玉県商工会議所連合会	会長	池田 一義	専務理事 武藤 彰
	埼玉県商工会連合会	会長	三村 喜宏	
	(一社) 埼玉県物産観光協会	会長	松本 邦義	
市町村 (2)	埼玉州市長会	会長	原口 和久	常勤理事兼事務局長 杉野 勝也
	埼玉県町村会	会長	古谷 松雄	常勤理事兼事務局長 富岡 茂雄
県関係 (10)	埼玉県	副知事	高柳 三郎	
	企画財政部	部長	堀光 敦史	
	県民生活部	部長	真砂 和敏	
	環境部	部長	小池 要子	
	産業労働部	部長	板東 博之	
	県土整備部	部長	北田 健夫	
	都市整備部	部長	村田 暁俊	副部長 堀井 徹
	教育局	教育長	高田 直芳	
	警察本部	本部長	原 和也	
	農林部	部長	強瀬 道男	
計			26名	

事務局

農林部森づくり課	課長	佐野 且哉	
	副課長	吉田 壯一	
	主幹	小平 弘孝	

(目的)

第 1 条 第 75 回全国植樹祭の開催準備を円滑に推進するため、第 75 回全国植樹祭埼玉県準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 基本構想の策定に関すること。
- (2) 開催会場の候補地の選定に関すること。
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な業務。

(組織)

第 3 条 準備委員会は、別表 1 に掲げる者をもって構成する。

2 準備委員会に委員長及び副委員長を置く。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員長は、副知事（農林部担当）の職にある者をもって充てる。

2 副委員長は、委員長が指名する。

3 委員長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。

(会議)

第 5 条 委員長は、必要に応じて準備委員会を招集し、その会議の議長となる。

2 委員は、会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

3 委員長は、協議事項に関して必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(会議の公開)

第 6 条 準備委員会は、原則として公開するものとする。ただし、出席した委員の三分の二以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

(事務局)

第 7 条 準備委員会の事務を処理するために、埼玉県農林部森づくり課に事務局を置く。

(承継)

第 8 条 準備委員会は、第 75 回全国植樹祭埼玉県実行委員会（仮称）（以下、「実行委員会」という。）が設立されたときは、その業務を実行委員会に引き継ぎ解散する。

(その他)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和 3 年 9 月 14 日から施行する。

別表 1 (第 3 条関係)

第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会委員

区分	所属・団体名	役職	氏名	備考
学識経験者 (2)	東京農業大学	客員教授	宮林 茂幸	
	東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林	講師	浅野 友子	
林業関係団体 (6)	埼玉県森林組合連合会	代表理事会長	吉田 廣文	
	(公社) 埼玉県緑化推進委員会	代表理事	岡 眞司	
	(一社) 埼玉県木材協会	会長	島崎 政敏	
	埼玉県森林協会	会長	井上 淳治	
	埼玉県山林種苗協同組合	理事長	滝田 早苗	
	(一社) 埼玉県治山林道協会	会長	石木戸 道也	
各種団体 (6)	(一社) 埼玉県建設業協会	会長	伊田 登喜三郎	
	(一社) 埼玉県造園業協会	会長	渡邊 進	
	埼玉県農業協同組合中央会	会長	坂本 富雄	
	(一社) 埼玉県商工会議所連合会	会長	池田 一義	
	埼玉県商工会連合会	会長	三村 喜宏	
	(一社) 埼玉県物産観光協会	会長	松本 邦義	
市町村 (2)	埼玉州市長会	会長	原口 和久	
	埼玉県町村会	会長	古谷 松雄	
県関係 (10)	埼玉県	副知事	高柳 三郎	
	企画財政部	部長	堀光 敦史	
	県民生活部	部長	真砂 和敏	
	環境部	部長	小池 要子	
	産業労働部	部長	板東 博之	
	県土整備部	部長	北田 健夫	
	都市整備部	部長	村田 暁俊	
	教育局	教育長	高田 直芳	
	警察本部	本部長	原 和也	
	農林部	部長	強瀬 道男	
計		26名		

全国植樹祭の概要について



(第71回全国植樹祭島根県2021)

本日説明する内容

- 1 全国植樹祭とは
- 2 過去の埼玉県での開催状況について
[昭和34年 第10回全国植樹祭]
- 3 近年の開催状況について
 - ・先催県の開催状況
 - ・第71回全国植樹祭島根県2021

1 全国植樹祭とは

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために行う
国土緑化運動の中心的行事。

毎年春に、天皇皇后両陛下の御臨席のもと開催されている。

- 主催

公益社団法人 国土緑化推進機構および開催都道府県

- 開催時期

毎年春(5月～6月)の日曜日

- 開催概要

式典行事 : 両陛下によるお手植え・お手播き、天皇陛下のおことば、
緑化功労者等の表彰、大会宣言 等

植樹行事 : 記念植樹

関連行事 : 歓迎レセプション、プレイベント、全国林業後継者大会 等

2 過去の埼玉県での開催状況について

- 大会名 第10回全国植樹祭
- 開催日 昭和34年(1959年) 4月5日(日)
かなおやま
- 開催場所 金尾山(寄居町)
- 参加者 約7,000名
- 大会テーマ 林種転換
- お手植え樹種 ヒノキ
- お手播き樹種 スギ、ヒノキ



天皇皇后両陛下による記念植樹(ヒノキ)

3 近年の開催状況について

●先催県の開催状況および予定

回数	開催年	開催県	開催場所	開催規模
63	平成24	山口県	山口きらら博記念公園（山口市）	12,600人
64	平成25	鳥取県	とっとり花回廊（西伯郡南部町・伯耆町）	7,209人
65	平成26	新潟県	長岡産業交流会館（長岡市） ※屋内会場	4,281人
66	平成27	石川県	木場潟公園（小松市）	10,887人
67	平成28	長野県	長野市オリンピック記念アリーナ（長野市） ※屋内会場	5,702人
68	平成29	富山県	魚津桃山運動公園（魚津市）	7,410人
69	平成30	福島県	海岸防災林（南相馬市）	8,144人
70	令和元	愛知県	愛知県森林公園（尾張旭市・名古屋市守山区）	10,000人
71	令和3	島根県	三瓶山(さんべさん)北の原（大田市）	1,000人 ← 6,000人
72	令和4	滋賀県	鹿深夢(かふか)の森（甲賀市）	5,000人
73	令和5	岩手県	高田松原津波復興祈念公園（陸前高田市）	6,000人
74	令和6	岡山県	岡山県総合グラウンド(岡山市) ※屋内会場	4,000人
75	令和7	埼玉県		

※72回大会以降の開催規模は計画段階のもの

●第71回全国植樹祭島根県2021開催状況



● 開催日 令和3年5月30日(日)

● 開催場所 おおだ さんべさん
太田市 三瓶山北の原

● 参加人数 約1,000人



※実施計画では6,000人を予定していたが、コロナ対策で1,000人に変更

区 分	参加予定者数	内 訳
県外招待者	1,150人	国関係者、被表彰者、他県招待者等
県内招待者	2,850人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、公募招待者、県実行委員会等
出演者、実施本部員等	2,000人	出演者、実施本部員、協力員、運営ボランティア等
合計	6,000人	

● 開催会場



● 式典行事概要

プロローグ

アトラクション、感謝状及び記念切手の贈呈等。

記念式典

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、天皇陛下のおことば、各種表彰、苗木の贈呈、アトラクション、大会宣言、リレーセレモニー等。

＜両陛下のお手植え・お手播き樹種＞

	お手植え樹種	お手播き樹種
天皇陛下	スギ コウヤマキ	クロマツ ヒノキ
皇后陛下	ヤマザクラ シャクナゲ	アカマツ クルミ



御収穫



お手植え



お手播き

<各種表彰>

- ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
- ・緑化功労者
- ・全日本学校関係緑化コンクール
- ・島根県緑化関係表彰

【授与者】 大会会長(衆議院議長)、農林水産大臣、
文部科学大臣、島根県知事

【受賞者】 受賞者代表(緑化功労者代表等)



大会テーマ表現

～新たな森話を誓う～ 「緑の循環」への誓いを発信

エピローグ

アトラクション、エピローグトーク、大会テーマソング紹介等。

- おもてなし広場(第70回愛知県開催2019の様子)※鳥根県はコロナ対策のため中止



おもてなしステージ



物産販売ブース



おもてなし広場の様子

第75回全国植樹祭埼玉県開催までのスケジュール

年度 区分	令和3年度 (開催4年前)	令和4年度 (開催3年前)	令和5年度 (開催2年前)	令和6年度 (開催1年前)	令和7年度 開催年(春季)	
主要な 動き	◎招致表明(5月10日) ◎開催申出(5月19日) ◎開催県内定(8月6日) ◎「基本構想」策定	◎開催県決定 ◎開催会場決定	◎「基本計画」承認	◎開催日決定 ◎「実施計画」承認	全国植樹祭 開催	
大会実施 組織体制	準備委員会 (9月設置)	実行委員会				実施本部
県決定 事項	基本構想 ◆開催理念 ◆開催規模 ◆開催会場候補地 等	基本計画 ◆大会テーマ選定 ◆広報・啓発計画 ◆シンボルマーク選定 ◆宿泊輸送計画 ◆大会ポスター原画選定 ◆大会運営計画 ◆式典等行事計画 ◆会場整備 等		実施計画 ◆式典等行事詳細計画 ◆大会運営詳細計画 ◆宿泊輸送詳細計画 ◆会場整備 ◆広報・啓発の実施 等		運営マニュアル
関連事業等				プレイベント開催		実行委員会
						全国林業 後継者大会

全国植樹祭 基本構想について

1. 基本構想とは
全国植樹祭の開催にあたり、開催理念や開催内容等の基本的な事項を定めるもの
2. 基本構想の構成（先催県の事例による）

第1章 はじめに

- 「基本構想」の趣旨
- 過去の開催状況等

第2章 開催方針

- **植樹祭の開催理念** ⇐ ◎基本構想の中で具体的に記載
- 埼玉県の特徴を活かした大会の基本方針
- 大会テーマ、シンボルマークの選定方法
- **開催候補地** ⇐ ◎基本構想の中で具体的に記載
- **開催規模、開催時期** ⇐ ◎基本構想の中で具体的に記載
- 企業協賛等

第3章 式典行事

- 式典行事の基本的な考え方
- 式典構成
- 式典運営方法

※式典行事の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第4章 植樹行事

- 植樹行事の基本的な考え方
- 植樹行事の構成（お手植え、お手播き、記念植樹）

※植樹行事の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第5章 会場整備等方針

- 式典会場の整備に関する基本的な考え方
- 植樹会場の整備に関する基本的な考え方
- 会場へのアクセス等に関すること

※会場整備等の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第6章 記念行事等

- 全国植樹祭のメイン会場以外で実施される併催行事の考え方
- 全国植樹祭に先立ち実施される関連行事の考え方
- 広報等に関する基本的な考え方

※記念行事等の詳細については、基本計画、実施計画で策定

第7章 運営方針

- 大会運営の基本的な考え方
- 大会運営に係る実施組織
- 開催準備スケジュール

先催県・後催県における「開催理念」

開催年	開催県	開催理念
R6	岡山県	私たちは、第 74 回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用」を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。また、県民一人ひとりのさらなる緑化意識の向上を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、緑あふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。
R5	岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民総参加による森林づくりと、森林資源の循環利用を推進します。 ・ 森林の恩恵を県内外にアピールし、健全で豊かな森林を次の世代へ引き継いでいきます。 ・ 世代を越え県を越え全国の皆さんが参加できる植樹祭にします。 ・ 感謝の気持ちを込めて東日本大震災津波からの復旧・復興の姿を国内外に発信します。
R4	滋賀県	私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森－川－里－湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人(暮らし)」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取り組みを支えることで、碧（あお）く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。
R3	島根県	<p>（一部省略）新たな緑の循環を進める決意を全国にアピールします。また、全国植樹祭の開催を通じて、森林や林業の役割を再認識するとともに、県民参加の森林づくりを拡大する契機とします。</p> <p>併せて、本県の豊かな自然や人々の営みが創り上げてきた文化(古代神話、「出雲大社造営」や「たたら製鉄」における木材利用等) など、島根県の特徴や魅力を全国に発信します。</p>
R 元	愛知県	「木材の利用」を山村（やま）と都市（まち）をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある「森林（もり）づくり」と「都市（まち）づくり」を進めていきます。
H30	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民参加の森林（もり）づくり活動を推進します。 ・ 福島県の復興・発展を加速する原動力とします。 ・ 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生を目指します。 ・ 県内外の多くの方が参加できるようにします。 ・ 国内外からの支援に対する感謝と復興に向かって強く歩み続ける福島の姿を広く発信します。

本県における「開催理念」のキーセンテンス（案）

- 1 豊かなみどりを県民全体で次の世代に引き継ぐ
- 2 緑化運動と森林資源の循環利用の推進
- 3-1 豊かな自然と共生する社会の実現【埼玉県5か年計画大綱（案）：針路】
- 3-2 みどりの保全と創出 【 ” ：施策】
- 4-1 儲かる農林業の推進 【 ” ：針路】
- 4-2 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大 【 ” ：施策】
- 5 埼玉の豊かな水と緑を守り育む 【本県のSDGs重点テーマ】
- 6 本多静六博士

《埼玉県における森林・林業に関する施策等参考資料》

1 埼玉県5か年計画大綱(案)

【針路10】豊かな自然と共生する社会の実現

＜背景＞

- ・本県のみどりは県土の約6割を占めているが、都市化の進展等に伴い緑地率は減少しており、特に平地林面積は大きく減少。
- ・人口減少や高齢化の進行により里山や森林は管理が行き届かず、二ホンジカによる獣害等も重なり荒廃が発生。
- ・一方、近年では温室効果ガス排出と吸収の均衡（カーボンニュートラル）の実現など、豊かな自然と共生し、全ての県民が安心して豊かに暮らせる持続可能な社会が求められている。

＜施策＞ みどりの保全と創出

（内容）

- ・都市と山村の連携による豊かな森づくりを進めるとともに、水源のかん養や生物多様性の保全など森林が持つ多様な機能を持続的に発揮させるため、適切な森林整備を進める。

（取組）

- ・都市と山村の連携による森づくり
- ・県民参加による森づくりの推進

【針路12】儲かる農林業の推進

＜背景＞

- ・木材価格の長期低迷等により、計画的な伐採や植栽が行われず、森林の若返りや循環利用が進んでいない。
- ・また、林業従事者の減少や高齢化が進んでいることも課題。
- ・所得が向上し儲かる農林業の実現に取り組むことが必要。

＜施策＞ 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大

（内容）

- ・「伐って・使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を進め、森の若返りを図ることで、持続可能な森林管理を推進。
- ・林業事業体の生産性を向上させるため、スマート林業や森林の団地化・施業の集約化等を推進する。
- ・県産木材の利用を拡大するため、安定的な供給体制を整備するとともに、公共施設などにおける利用を推進。

(取組)

- ・皆伐・再造林システムの確立・普及
- ・スマート林業技術の導入・普及
- ・公共施設や民間住宅などでの県産木材の利用拡大

2 本県のSDGsの重点テーマ

- 「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」

【朝日新聞「SDGs ACTION」(特集：まちを変える、まちが変わる) 記事より抜粋】

- ・大野知事への「将来に向けてどのようなまちづくりを進めていくのか」についての取材
(2021.3.9)

Q SDGsの重点テーマとは？

<大野知事>

「一つは「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」です。埼玉県は荒川や利根川などが流れ、県土に占める河川面積の割合が全国2位の3.9%になります。都心の近くにありながら森林面積も県土の約32%を占め、緑にも恵まれています。豊かな水と緑はまさに将来に残すべきものです。」

3 本県の森林について

(1) 森林の現況

- 本県の森林面積は119,779haで県土の約3割を占め、所有形態別に見ると国有林が10%、民有林が90%となっている。
- 民有林における人工林の割合は53%で、その約8割が木材として利用可能な林齢に達している。
- 本県の森林は、シラビソ林など貴重な原生林を残す奥秩父の山々から、山地・丘陵地にいたるスギ・ヒノキの林業地、コナラ・クヌギなど武蔵野の雑木林として親しまれてきた平地林まで、多彩な姿が見られる。

(2) 本県の森林・林業に関する歴史・文化

- 本県の南西部、飯能市・日高市・毛呂山町・越生町の2市2町にまたがる西川林業地では、「江戸の西の方から来る木材」との意味から「西川材」と呼ばれる、材の色、艶がよく、年輪が緻密で節の少ない良質材が生産されてきた。
- 明治から昭和にかけて活躍した本県出身の本多静六博士は、日本初の林学博士であり、水道水源林・鉄道防雪林などの創設や、日比谷公園や大宮公園など全国の多くの公園を設計し、近代日本の発展に大きく貢献した。さらに、博士が100年先を見据えて計画し作り上げた明治神宮の森は、今なお高い評価を得ている。
- 川越市・所沢市・狭山市・ふじみ野市・三芳町の5市町にまたがる三富地域では、江戸時代からクヌギやコナラなどの平地林の落ち葉をたい肥として利用する循環型農業が続いてきた。

第75回全国植樹祭開催候補地について(案)

市町村への開催候補地調査について(調査期間令和3年7月2日～令和3年8月6日)

1 調査目的

- ①開催候補地の選定に係る基本条件に該当する市町村営施設があるか
- ②市町村内にある県営施設又は国営施設において開催を希望するかを事前に把握するための調査。

2 開催候補地の選定に係る基本条件

- ①式典会場：5,000人程度の収容が可能な、概ね1.5haの面積を備えた施設
- ②植樹会場（特別招待者用）：概ね1.0ha以上
- ③おもてし広場：概ね0.5ha以上
- ④駐車場：大型バスが概ね200台以上駐車できる広さを有する場所がある。

※参加者送迎バス待機場として利用するため、施設外を含めた分散配置も可とする

※上記条件はあくまで目安であるため、条件を満たない場合でも回答可とする。

3 調査結果（回答市町村：63市町村）

① 基本条件に該当する市町村営施設において開催を希望する町：伊奈町

番号	市町村	施設名	所在地	開設面積
1	伊奈町	伊奈町制施行記念公園	伊奈町大字小針内宿 732-1	9.7ha

【施設の概要】

- 1:バラを始めとする季節の花が咲き乱れる花園や水辺の広場などがあり、みどりのある町民の憩いの場となっている公園。

② 県営施設において開催を希望する市町：秩父市、小鹿野町、所沢市、春日部市

番号	市町村	施設名	所在地	開設面積
1	秩父市、小鹿野町	秩父ミュージックパーク	秩父市別所・久那・寺尾・田村、小鹿野町長留地内	271.3ha (うち県 117.9ha)
2	所沢市	所沢航空記念公園	所沢市並木1丁目地内	50.2ha
3	春日部市	春日部夢の森公園	春日部市下大増新田字西耕地他	約16ha (供用開始 7.9ha)

【施設の概要】

- 1: 県内最大の森林面積を有する秩父市内にあり、小鹿野町とまたがる緑豊かな長尾根丘陵に位置する公園。
- 2: 日本における航空発祥の地。みどりも多く市民のスポーツ・文化の交流拠点となっている公園。
- 3: 「ふれあいの森～人と自然、人と人のつながりを継承する」をコンセプトに、県民との協働により森を創出していく公園。



◎今後、市町が開催を希望する4施設について、別紙「選定基準（案）」に基づき、詳細な調査を実施。（委託発注10月予定）

開催候補地位置図



○伊奈町制施行記念公園



○秩父ミュージックパーク

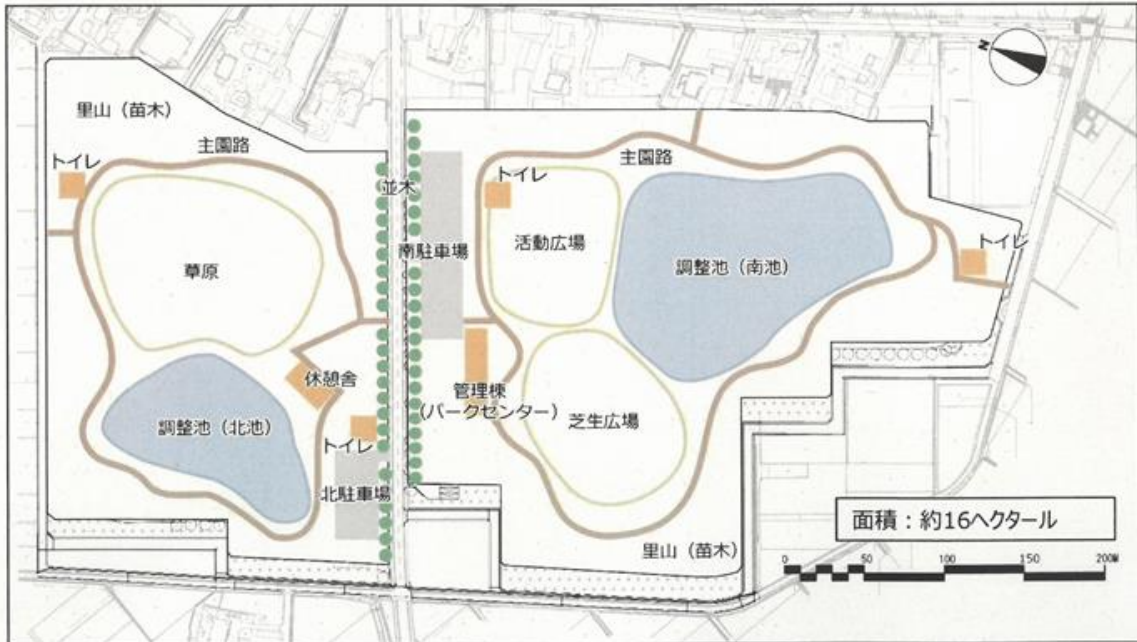


○所沢航空記念公園



○春日部夢の森公園

整備イメージ



第75回全国植樹祭 開催候補地の選定基準(案)

(公社)国土緑化推進機構の全国植樹祭・全国育樹祭運営要綱を踏まえ選定基準(案)を設定。この基準(案)に基づき詳細な調査を実施後、総合的に評価し準備委員会として開催候補地を選定。

1 国土緑化推進機構『全国植樹祭・全国育樹祭運営要綱』[第4条(5)～(8)]における会場選定等に係る留意事項

(第4条(1)～(4)略及び(9)は省略)

- (5) 植樹祭開催具は、機構と協議の上、会場を選定するものとする。この場合、交通、宿泊人員、規模等を考慮するとともに、会場の造成に当たっては、極力原地形の有効利用によって地形の変化は必要最小限にとどめるものとし、必要があれば植樹地の分散、会場と植樹地の分離等についても考慮するものとする。
- (6) 参加人員は、会場の広さ、交通機関の条件等を考慮して定めるものとし、参加者の範囲は、全国植樹祭の目的、性格に適する範囲とするものとする。
- (7) 全国植樹祭の開催に必要な諸施設の設置については、極力既存の施設の利用を考慮し、新設する場合は、単一目的、短期利用のものは極力避け、多目的、長期利用可能なものを設置するよう配慮するものとする。
- (8) 全国植樹祭の開催に当たっては、全国植樹祭の性格、目的に照らし質素に行うこととし、経費の削減に努めるものとする。

2 本県における開催候補地の選定基準（ハード面）

(1) 基本要件

① 開催時(令和7年)に確実に利用できること

- ・河川敷に施設がないこと
- ・開催日や会場整備期間に日程調整や使用期間の制限がないこと

② 既存施設の活用

- ・大規模な会場整備工事等を要しないこと

③ 式典運営が可能な会場施設

- ・概ね5千人程度^{*}の招待者等に対応できる式典会場及びおもてなし広場等の配置が可能な施設

ただし、今後、開催候補地の詳細調査により、施設の状況によって多少規模の変更の可能性はある。

※ 先催県・後催県の開催規模事例 資料4-4-2

④ 荒天時の会場確保

- ・式典会場(好天時)から比較的近く、概ね1,500人程度の招待者等に対応できる屋内施設

(2) その他の条件

① 招待者等の宿泊先から会場までのアクセス道路の状態が良好なことが望ましい

② 会場となる施設内または隣接地等に、大型バス乗降所及び駐車場、式典運営等関係車両の駐車場を配置できることが望ましい

③ 会場所在市町村が全国植樹祭の開催に協力的であることが望ましい

④ 会場及び周辺的环境・景観が良好であることが望ましい

先催県・後催県の開催規模事例

資料4-4-2

単位:人

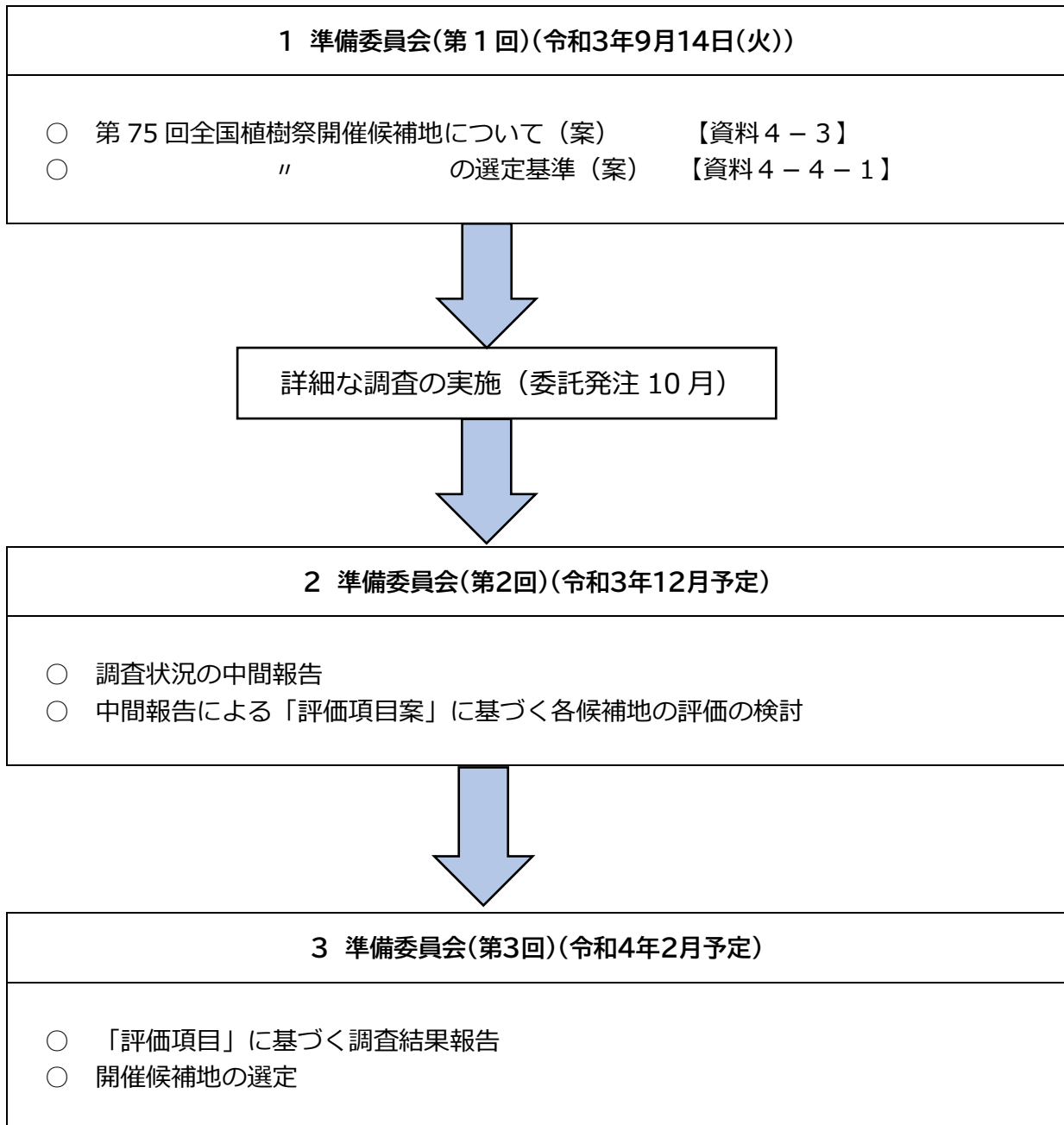
	概算事業費 (億円)	①中央	②特別招待者			③一般招待者			招待者 (①~③) 小計	④出演者 本部員等 (出演者、出展者、 実施本部員、ホフ ティア等)	参加者 (①~④) 合計
		特別招待者 (国務大臣、国土緑 推会長、開催県知 事および県議会議 長、次期開催県知 事等)	(県外) 特別招待者 (国会議員、都道府 県知事および県議 会議長、緑化功労 者等)	(県内) 特別招待者 (県議会議員、市町 村長、実行委員会 委員等)	計	(県外) 一般招待者 (各都道府県森林・ 林業関係者等)	(県内) 一般招待者 (県内森林・林業関 係者、県内公募に よる一般県民等)	計			
【H23】和歌山県	-	30	220	200	420	700	1,650	2,350	2,800	700	3,500
【H24】山口県	-	20	480	1,000	1,480	1,000	7,500	8,500	10,000	3,000	13,000
【H25】鳥取県	8.5	30	220	200	420	1,250	3,300	4,550	5,000	2,000	7,000
【H26】新潟県	3.5	30	220	200	420	750	1,700	2,450	2,900	1,800	4,700
【H27】石川県	10.1	40	220	200	420	1,740	5,800	7,540	8,000	2,000	10,000
【H28】長野県	6.1	30	220	250	470	1,000	2,500	3,500	4,000	2,000	6,000
【H29】富山県	8.1	30	220	200	420	950	2,800	3,750	4,200	3,300	7,500
【H30】福島県	10.5	30	270	350	620	1,900	3,450	5,350	6,000	3,000	9,000
【R1】愛知県	11.5	30	450	750	1,200	1,000	5,570	6,570	7,800	2,200	10,000
【R3】島根県 上段:当初 下段:変更	-	30	220	200	420	900	2,650	3,550	4,000	2,000	6,000
【R4】滋賀県	-	30	220	200	420	850	1,700	2,550	3,000	2,000	5,000
【R5】岩手県	-										6,000
【R6】岡山県	-										4,000
【R7】埼玉県		30	270	277	547	900	2,023	2,923	3,500	1,500	5,000
(規模内訳) H25全国育樹祭 当初実施計画書 を参考に積上げ	3.9	・全国育樹祭中央参加者300人	・首長、議長126人 (2人×63) ・県議91人 ・実行委員等60人			・均等割各県615人 ・後催県235人 ・一般公募50人	・緑少年団200人 ・森林組合10人 ・協賛団体100人 ・林・緑化功労100人 ・その他団体50人 ・一般公募1563人			・音楽隊200人 ・出演者500人 ・協力員等800人	

平均約8千人

平均約5千人

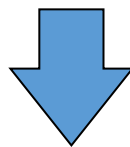
※参加者数は「実施計画」に記載の数値。ただし、滋賀県は「基本計画」、岩手県および岡山県は「基本構想」に記載の数値。

第 75 回全国植樹祭開催候補地の選定手順(案)



第75回全国植樹祭埼玉県準備委員会の進め方について

会 議	主な協議事項
【第 1 回】 (令和3年9月14日)	1 準備委員会の設置について 2 全国植樹祭の概要について 3 開催までのスケジュールについて 4 基本構想について 5 準備委員会の進め方について
【第 2 回】 (令和3年12月予定)	基本構想について (素案)
【第 3 回】 (令和4年2月予定)	基本構想について (案)



第75回全国植樹祭基本構想 (埼玉県)

【令和4年 3 月策定・公表 (予定)】